

大手町アカデミア×人間文化研究機構コラボレーション 無料特別講座



漆(japan)から 日本史が見える



ミュンヘン五大陸博物館蔵
©Museum Fünf Kontinente

——「シーボルトの日本コレクション」を中心に

2018年12月14日(金) 19:00～(18:30開場)

概要

ウルシとその仲間の木から採られる樹液を塗料その他に利用する文化は、アジア特有のもので、日本列島では縄文時代以来の歴史を有しています。さらにポルトガル人との出会いをきっかけに、16世紀以降世界各地に輸出された日本の漆工芸は、ミステリアスな極東の特産品として、ヨーロッパの王侯貴族たちの垂涎の的となりました。

しかし、二度にわたり江戸後期の日本を訪れたシーボルトは、もっとリアルな日本を伝えよう

と、精力的な収集活動続け、持ち帰った日本コレクションを博物館展示として紹介します。オランダ・ドイツ・オーストリアに散らばったコレクションの実地調査をもとに、シーボルト父子が伝えた日本の伝統工芸の世界を、国立歴史民俗博物館・日高教授が紹介します。

また、ナビゲーターには数多くの話題作を著している歴史家・倉本教授を迎え、トークセッションを交えながら、日本史における漆文化をお伝えする予定です。ご期待ください。

講師紹介



日高 薫 (国立歴史民俗博物館教授)
ひだか かおり

専門は漆工芸史。国立歴史民俗博物館助手、准教授を経て、2010年から現職。著書に『日本美術のこぼれ』、『異国の表象——近世輸出漆器の創造力』など。



**ナビゲーター
倉本一宏**

(国際日本文化研究センター教授、
『日本史の論点』共著者)

会場：読売新聞ビル3階「新聞教室」
東京都千代田区大手町1-7-1

※お申し込みはこちらから

<http://otemachiacademia.peatix.com/>
(ご利用にはPeatixのアカウント登録が必要です。)

※企画内容は予告なく変更になる場合があります。

※先着順の受付となります。定員に達し次第、受付終了となります。

お問い合わせ t-academia@yomiuri.com

ツイッター <https://twitter.com/oteacademia>

フェイスブック <https://www.facebook.com/otemachiacademia>

会場：読売新聞ビル3階新聞教室

